

# 米沢興讓館高校SSH通信

## 山形県高等学校サイエンスフォーラム



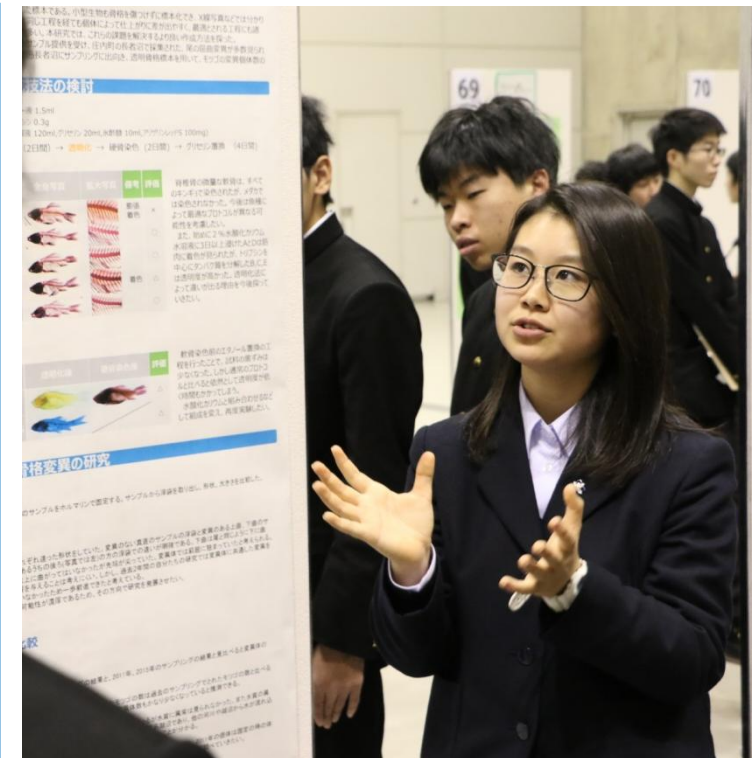
平成28年12月17日(土)、山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング)を会場として、「山形県高等学校サイエンスフォーラム」が開催された。理数教育や産業教育、探究型学習に熱心に取り組んでいる学校の生徒が、それぞれの学校における諸活動の状況や研究成果の発表を行い、議論することで、相互に刺激し合い、これからの活動や研究の質的向上と内容の深化を図る目的で実施された。さらに、今回は県高文連化学専門部全国大会出場予選も兼ねて開催された。(主催：山形県教育委員会、山形県理数科設置3校、山形大学山形県高文連科学専門部)山形東、山形南、山形西、山形工業、山形中央、上山明新館、寒河江、村山産業、東桜学館、新庄北、米沢興讓館、米沢東、鶴岡南、鶴岡工業、加茂水産、酒田東、日大山形の県内各地の高校の生徒が合計105本の研究をポスターセッション形式で発表した。

「BURNING KII」  
(2年理数科女子)

私達「化学班火災旋風組」は十二月十七日に行われた山形県高等学校サイエンスフォーラムの理数科の部で最優秀賞を受賞する事ができました。今まで「こつこつと積み上げた実験やポスター作りの頑張り」が報われたようで本当に嬉しかったです。

さて、みなさんは「火災旋風」を知っているでしょうか。火災旋風とは、上昇気流に炎がともなったもの、つまり、炎の竜巻です。通常の炎よりも燃焼時間が短く、多くのエネルギーを使うため、発生した時は避難時間も短くなり、火事の範囲も広くなるので大変危険です。日本で起こった実例として、関東大震災があります。このときは死者の約四割が火災旋風で亡くなりました。しかし、現在までに火災旋風の明確な発生条件はわかっていません。そこで、私達は建物間で発生する火災旋風について着目して実験を行っています。最終目標は「ハザードマップの作成」です。温かく見守って頂けると嬉しいです。また、一月二十七日・二十八日に福島県で行われる東北大会では、悔いの残らない全力プレー(ゼンテーション)を行えるように精進していきたいと思っています。

最後にメンバーの紹介させていただきます。O.Hさんは気持ち悪い手の動きとみんなのハートを射抜く甲高い声で頑張っています。さすが吹研です。K.Rさんはとても簡単に言う「ユーモア溢れる女の子」です。いつか彼女の笑い声が聞きたらあなたも今日から「ユーモア人間」間違いなしです。T.Mさんはオタクという一面とピュアな女の子という一面を持っています。これぞまさしく二重面相。友達からお菓子をもらうときは必ず食べさせてもらっています。あざといですね！その中で私は三人のボケにツッコみをいれ、場を引き締めるリーダー的存在です。昼休みや放課後に化学室に是非いらしてください。火災旋風と四人がみなさんを温かく迎え入れる事でしょう。



山形県  
**サイエンスフォーラム**  
SCIENCE FORUM

平成28年12/17  
山形国際交流プラザ山形ビッグウイング 第2集會展示場  
入場無料 どちらでも入場できます。

フォーラムの日程  
課題研究等の科学研究ポスター発表  
9:00 各校ポスター発表準備  
9:50 開会式・講演会  
10:20 ポスター発表1  
11:40 ポスター発表2  
12:40 昼食休憩  
13:30 ポスター発表3  
15:15 閉会式(表彰式・観覧終了)



**結果**  
二つの部門で最優秀賞受賞！

理数科の部  
最優秀賞：「火災旋風の発生条件」  
優秀賞：「パラボラの性質を活かした発電」  
「透明骨格標本の作成技法の検討」

化学専門部  
最優秀賞：「生体を模倣した神経幹細胞の培養」  
優秀賞：「焼成温度・時間における米粉パンの製パン性」  
優良賞：「透明骨格標本を用いた骨格変異の研究」  
「環境の異なる二つのアミノ基を有するスルホニルアニリン型蛍光色素の合成と物性評価」

